

環境共生生物学特論 I (2単位)

担当者氏名 田中 尚人

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

あらゆる環境において生物はなにかしらの適応能力を持つことで存在し、特に環境適応に優れた微生物は多様な性質が知られている。一方で、微生物は様々な有益な性質により人の生活に大きく貢献している。この特論では微生物の様々な種類と性質の理解を深めることを目標とする。この特論により微生物多様性及び微生物資源の重要性を理解するための基礎を構築することを目標とする。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

微生物多様性

微生物資源

微生物分類

環境適応

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	微生物学の歴史と扱い方の基本 (第1週-3週)	・微生物学の歴史について ・分離・培養・保存技術の歴史について	◎事前に関連資料を読んで予習し、講義の中で随時積極的な質問をすること。 ◎講義中に、その内容に関連するキーワードを重点的に説明するのでよく理解するために復習をすること。随時資料を配付する。
2	微生物の種類 (第4週-6週)	・微生物の分類について ・各種微生物の基本的性質について	
3	微生物の環境適応 (第7週-9週)	・微生物の生育環境要因について ・環境の多様性と微生物について	
4	微生物の相互作用 (第10週-12週)	・微生物相互作用について ・発酵食品の微生物共生について	
5	生物多様性条約と微生物資源 (第13週-15週)	・海外の微生物資源のアクセスについて ・微生物資源の利用について	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所(発行年)

IFO微生物学概論/大嶋泰治他/発酵研究所(2010年)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所(発行年)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

小テスト(50点)・課題(50点)

◆オフィスアワー

毎週月曜日の午後、研究室で質問等を受け付ける。

◆その他受講上の注意事項